

白藍塾オリジナル

2014入試小論文分析&解答のヒント

2014年4月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・樋口裕一・大原理志

●慶応・法学部

かなり難解な文章なので、この種のものを読み慣れない人は読解に苦労するかもしれない。課題文は、女性が担当することの多い育児・家事労働（課題文中では、「ケア労働」と呼ばれている）について考察したものだ。設問に関する事を中心に簡単にまとめるとこうなる。「これまでの社会では、人々が権利を主張し、どちらが正しいかに順位をつけて調整しようという《正義の倫理》が重視されている。そのような社会では、ケア労働を行う人間は、家を離れることができないので、公的な関心を持つ自律的な個人という一人前の人間とみなされない。しかし、だれかがしなければならぬので、社会的弱者である女性が自由意志の結果としてケア労働を担当する形になっているにすぎない。そうした流れに対して、キャロル・ギリガンは《ケアの倫理》という考えを示した。ケア労働を成り立たせているのは、他者への共感、自己批判などを重視する《ケアの倫理》である。ギリガンはこの二つの倫理があることを示したうえで、これは対立するものではなく、両立するものだ」と主張する。ケア労働に必要な他人を尊重し、その人のかけがえのなさ、唯一性を尊重する態度は、公的領域に必要な態度である。また、家族というのも考えてみれば、年齢、能力、出自などを異にする人間の集合であるので、家族をケアすることは政治的な行為である。

これについて、「ケアの倫理」と「正義の倫理」に関する筆者の分析を踏まえて考えを論じることが求められている。まずは、上に書いたようにこの文章が「権利の調整を重視する正義の倫理と、他人のかけがえのなさを尊重するケアの倫理を統合するべきだ」と語っていることを明確にし、そうするべきか、それが可能か、そのためにはどうすればよいのかを論じるのが正攻法だ。

反対論には、「現代社会は経済中心の社会であり、正義の倫理に基づいて権利を明確にし、競争によって経済発展を行おうとするので、ケアの倫理が力を持つのは難しい。ケア労働は弱者が事実上、強制的に担わされるしかない」などが考えられる。賛成論には、「正義の倫理は他者を支配する権力を得ることを目的とする倫理であり、ケアの倫理は他者のために尽くすことを目的とする。両者が補い合うことで、経済面からと人間性の面から社会を築くことができる。その両方の面を可能にするのが政治の役割である」「他人を尊重するケアの倫理を民主主義社会にとって最重要だと考え、それが守られる条件内で正義の倫理を成り立たせることによって、統合が可能である。正義の倫理を優先すると、他者の尊重が不十分になる」な

どが可能だ。ただし、かなりの難問なので、問題点を的確にとらえていれば、鋭いアイデアを示さなくても十分に合格レベルだろう。

©執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室 (03-3369-1179)

<http://www.hakuranjuku.co.jp>